

おおたくちいきふくしけいかくさくてい  
大田区地域福祉計画策定のためのアンケート調査

日頃より、大田区政にご協力賜りまして、心より御礼申し上げます。  
大田区では、区民が平時はもとより災害時においても、地域社会の一員として、安心して、その人らしく、充実した生活が送れるように、「大田区地域福祉計画」を策定して体系的に関係施策を展開しています。

本調査は、令和5年度での同計画の見直しを控え、地域でご活躍されている自治会・町会、区民活動団体、民間企業、民生委員児童委員、社会福祉法人等の皆様を対象に、日ごろの活動状況や困っていること、他団体との連携状況、地域福祉活動の活性化に必要なことについて、ご意見をお聞かせいただきたいと考えています。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは、一切ありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年11月  
大田区

■ ご記入にあたってのお願い

- 原則、封筒の宛名の方が、令和4年10月1日現在の状況でご回答ください。
- 設問ごとにあてはまる回答の番号を選び、その番号を○で囲んでください。「その他」をお選びいただいた場合は、( )内になるべく具体的にご記入ください。
- 回答方法は《紙の調査票》または《WEB》の2種類あります。
- 《紙の調査票》で回答される方は、この調査票に回答を直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストにご投函ください。
- 回答締め切り日は【12月2日（金）】です。※当日消印有効

■ WEBで回答される方へ

- WEBで回答していただける方は、右記の二次元コードを読み取るか、以下のURLを入力すると、回答フォームにアクセスすることができます。IDとパスワードを入力の上、回答にお進みください。



URL <https://forms.gle/cARMqcESCZvxNgCh9>

ID \_\_\_\_\_ パスワード \_\_\_\_\_

■ 本調査に関するお問い合わせ先

大田区福祉部福祉管理課 TEL 03-5744-1721 FAX 03-5744-1520

# 1 貴団体の概要について

- 問1 貴団体名を教えてください。  
※封筒に記載のある団体名を教えてください。  
※民生委員児童委員の方は、所属する地区民生委員児童委員協議会の名称をご記入ください。  
※自治会・町会、民生委員児童委員の方は、問2～問5まで回答不要です。問6へお進みください。

- 問2 貴団体が地域で活動を行おうと思ったきっかけを教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 友人や知人と何かを始めたくて
- 2 近所の人と呼びかけあって
- 3 同じ悩みを抱えた人が集まって
- 4 趣味のサークルなどが発展して
- 5 職場の同僚と呼びかけあって
- 6 区や社会福祉協議会から呼びかけられて
- 7 会社で地域貢献活動に力を入れるようになったから
- 8 その他( )
- 9 わからない

- 問3 貴団体の主な活動エリアを教えてください。(自由に記入)

- 1 活動エリアを限定していない
- 2 主な活動エリアがある(具体的に: )

- 問4 貴団体は、地域での活動を始めてどのくらいになりますか。通算の年数で教えてください。(〇は1つ)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1 1年未満      | 4 5年以上～10年未満  |
| 2 1年以上～3年未満 | 5 10年以上～20年未満 |
| 3 3年以上～5年未満 | 6 20年以上       |

- 問5 貴団体の活動者数を教えてください。(数字を記入)  
※ただし、民間企業や社会福祉法人の方は、地域貢献活動に係る取り組みに直接携わっている方または参加している方の人数を教えてください。

にん  
人

## 2 活動状況について

問6 貴団体が取り組んでいる主な活動を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 季節行事の運営(お祭りや伝統行事など)
- 2 まちの美化活動(ゴミ出し、リサイクル、放置自転車、花壇の植栽の手入れなど)
- 3 防犯・防災対策(巡回パトロール、情報提供、避難訓練など)
- 4 交通安全対策(交通安全運動期間中の見守り、交通事故防止啓発活動など)
- 5 高齢者向けの支援(見守りや定期訪問、健康づくりなど)
- 6 障がい者向けの支援(施設訪問、交流活動など)
- 7 子どもや子育て世代のための支援  
(子育ての悩み相談、育児グループの支援、子どもの居場所の提供など)
- 8 青少年健全育成のための支援(不登校、ひきこもり対策など)
- 9 生活困窮者向けの支援(就労支援、フードドライブなど)
- 10 社会教育(生涯学習、スポーツ、文化活動など)
- 11 その他( )
- 12 検討しているものの、今のところはない

問7 問6の選択肢のうち、貴団体が今後取り組んでみたい活動の番号をご記入ください。(いくつでも可)

問8 貴団体では、地域の居場所の提供となるような取り組みに興味・関心はありますか。(〇は1つ)

- 1 興味・関心があり、すでに取り組んでいる
- 2 興味・関心はある
- 3 特になし

問9 貴団体の活動に参加されている区民の方から生活上の困りごとの相談を受けたことがありますか。  
(〇は1つ)

- 1 受けたことがある
- 2 受けたことはない

問10 貴団体は、地域での活動に必要な行政情報をどこから入手してますか。(〇はいくつでも)

- 1 区役所の窓口や区の掲示板
- 2 区報
- 3 区のホームページ
- 4 区のSNS
- 5 社会福祉協議会を通じて
- 6 民生委員児童委員を通じて
- 7 福祉サービス事業所や職員を通じて
- 8 他の団体を通じて
- 9 友人・知人などの知り合いを通じて
- 10 その他( )
- 11 特にない

問11 問10の選択肢のうち、貴団体が地域での活動に必要な行政情報をどこから入手したいですか。番号をご記入ください。(いくつでも可)

問12 貴団体の活動を充実させるために、行政に求める支援を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 活動に必要な情報を提供してほしい
- 2 活動をするための場所・施設等の紹介をしてほしい
- 3 団体運営上の助言をしてほしい
- 4 助成金の提供をしてほしい
- 5 他団体との連携を支援してほしい(ネットワーク化、交流会の開催など)
- 6 活動の質を高める研修を開催してほしい
- 7 区民に対して活動のPRをしてほしい
- 8 その他( )
- 9 特にない

### 3 困っていることや連携状況について

問13 貴団体が困っていることを教えてください。(〇はいくつでも)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 活動者の確保が難しい      | 10 他の団体と交流する機会が乏しい    |
| 2 指導者・リーダーが育たない   | 11 ニーズに合った活動ができていない   |
| 3 活動者の高齢化         | 12 活動がマンネリ化している       |
| 4 活動に必要な機材の不足     | 13 活動範囲が広がらない         |
| 5 活動資金が足りない       | 14 活動の専門知識や技術などの研修機会が |
| 6 活動拠点(場所)の確保が難しい | 少ない                   |
| 7 情報発信する場や機会が乏しい  | 15 事故への責任、保険に不安       |
| 8 情報発信のデジタル化ができない | 16 その他( )             |
| 9 活動支援の情報が得にくい    | 17 特にない               |

#### 問13で「1」～「16」を選んだ方に

問14 問13で回答した困っていることのうち、貴団体が他の団体や機関と連携して解決したいことの番号をご記入ください。(いくつでも可)

問15 貴団体は地域での活動を行ううえで、以下のような団体や機関と連携・協力関係がありますか。(〇はいくつでも)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 区役所・地域庁舎・特別出張所         | 13 PTA(おやじの会等含む)      |
| 2 社会福祉協議会                | 14 青少年対策地区委員会または青少年委員 |
| 3 生活再建・就労サポートセンター JOBOTA | 15 保護司会               |
| 4 大田区ひきこもり支援室 SAPOTA     | 16 障がい者団体など当事者団体      |
| 5 地域包括支援センター             | 17 民間の社会福祉施設や社会福祉事業者  |
| 6 自治会・町会                 | 18 医療機関               |
| 7 民生委員児童委員               | 19 シニアクラブ             |
| 8 警察署                    | 20 ボランティア・NPO団体       |
| 9 消防署                    | 21 商店街                |
| 10 児童相談所                 | 22 民間企業               |
| 11 保育園・児童館               | 23 その他( )             |
| 12 学校                    | 24 特にない               |

問16 問15の選択肢のうち、貴団体が地域の活動を発展させるため、今後連携・協力関係を深めたい団体や機関の番号をご記入ください。(いくつでも可)

## 4 地域福祉活動の活性化に必要なことについて

問17 貴団体の活動に参加する人を増やすためにはどのような工夫をすればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 単発・短時間で参加できる機会をつくる
- 2 参加者の経験が活かせる機会をつくる
- 3 家族や友人・知人等と一緒に参加できる機会をつくる
- 4 活動者同士で対面しなくてもよい活動を増やす
- 5 活動内容の情報をわかりやすく発信する
- 6 つながりのある団体や機関に所属している人に声をかける
- 7 地域でのイベント等で協力を呼び掛ける
- 8 その他( )
- 9 わからない

問18 地域のことについて話し合いができるような場があれば、貴団体は、参加したいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 参加したい
- 2 参加できない・したくない
- 3 わからない

問19 大田区で活動している【地域福祉コーディネーター】を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 連携して活動したことがある
- 2 知っていて連携できる間柄である
- 3 名前や活動内容等を知っている
- 4 名前だけは知っている
- 5 知らない

問20 今後、区が特に力を入れて取り組むべきことは次のうちどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 区民が地域に関わるきっかけづくりの充実
- 2 地域で活動する人と人の交流の促進
- 3 区民や団体が地域で新たに福祉活動をはじめするための支援
- 4 ユニバーサルデザインやバリアフリーの視点を踏まえた環境づくり
- 5 どの世代にも応じた支援体制の充実
- 6 複数の課題を抱えた人や世帯に対する相談体制の充実
- 7 地域住民同士で支えあう(助け合う)意識の醸成
- 8 福祉の専門的な人材の育成
- 9 福祉の関係機関や区内事業所等との区の連携強化
- 10 世代や文化、個人の価値観等の多様性を認め合う意識の醸成
- 11 その他( )

問21 地域での支え合いや助け合いを推進していくには、どのようなことが必要だと思いますか。(自由に記入)

ご協力いただき誠にありがとうございました。

いただいたご意見は、次期大田区地域福祉計画の作成に活かしてまいります。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月2日(金)までにご投函ください。